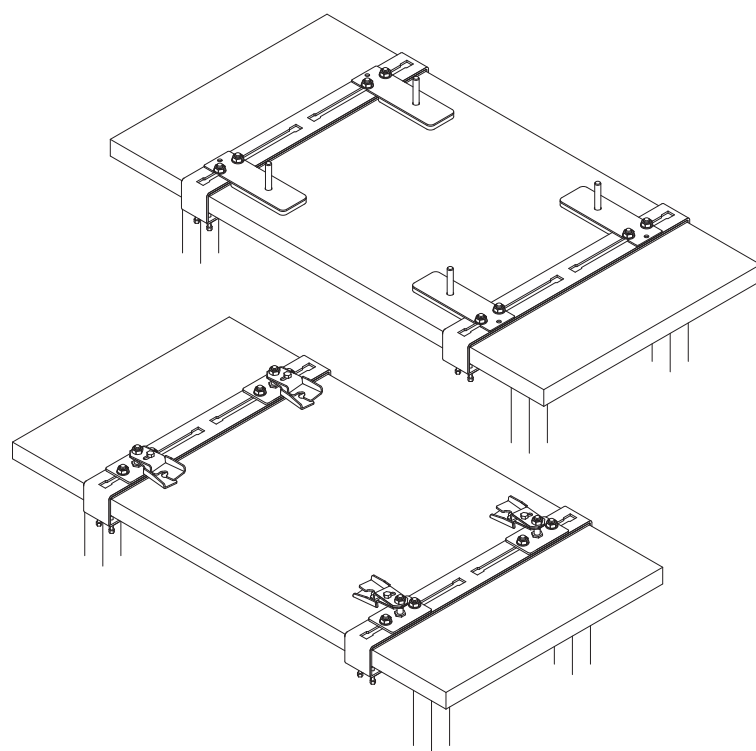


装置固定金具

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 本製品の制限荷重は200kg、制限高さ（作業台本体は省く。）は1200mmまでとなります。
2. 積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
3. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
4. 使用中にネジやパーツのゆるみなどガタツキが生じたときは組み立て方にしがたって、締め直して下さい。緩んだままで使用していると、変形や破損及び転倒の原因になります。
5. 製品の分解・改造や部品を外したり、外したままで使用しないで下さい。
6. 収納物がはみ出したり高く積み上げた状態でご使用にならないでください。落下等の事故の原因となります。
7. 可動部の隙間に指を入れますと、指を挟む恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
8. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。
9. 使用に際しては本体を必ず水平に保って作業して下さい。
10. 凹凸の激しい通路での使用は絶対しないで下さい。変形や破損、及び転倒事故の原因となります。
11. この製品を踏台代りに使用しないで下さい。転倒や事故の原因になります。
12. 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けて下さい。
13. 製品にもたれたりぶら下がったり、また乗ったりしないで下さい転倒や転落事故の原因になります。
14. 傾斜地では使用しないで下さい。本体が転倒する恐れがあり、人や物に当たりけがや破損の原因となります。
15. 天板の継ぎ目や裏側、隙間に指を入れないで下さい。切断面や取付ビスの先端などで、けがをする恐れがあります。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やさびの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷やサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
6. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。
7. 温度の著しい物の収納は避けて下さい。
8. 子供の手に触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。製品に触れて転倒やけがのおそれがあります。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

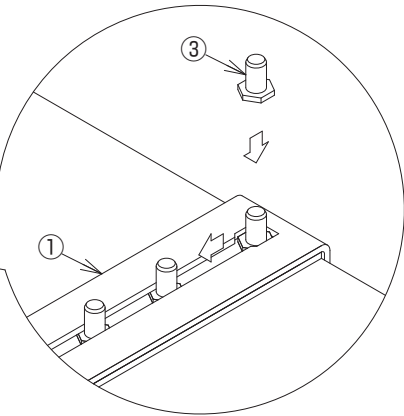
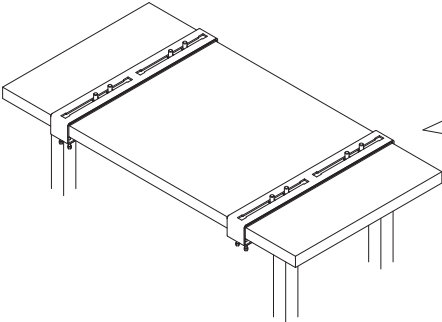
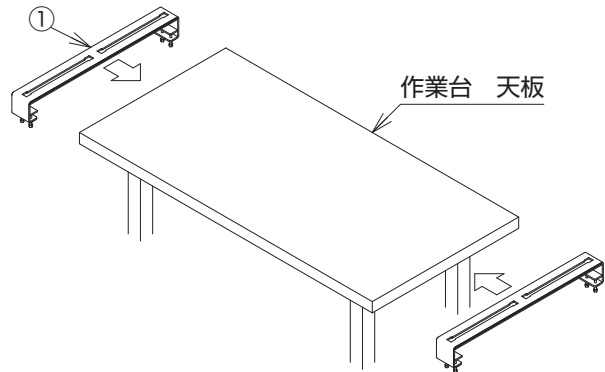
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

組立方法

- 1

1. 初めに右の表をご覧ください。内容物の確認を行って下さい。
作業台の天板に①スライドフレームを差し込んで下さい。
- 2

①スライドフレームの溝部に③低頭六角ボルトを差し込みます。
アタッチメントを取り付ける溝部に各2本、計8本を差し込んで下さい。
<アジャスタータイプ>は②へ <アンカータイプ>は③へ
<ベルトタイプ>は④へ



注. 天板厚さが25mm未満又はハニカム構造の天板にはご使用できません。
天板交換を希望される場合は弊社係員までお問い合わせ下さい。

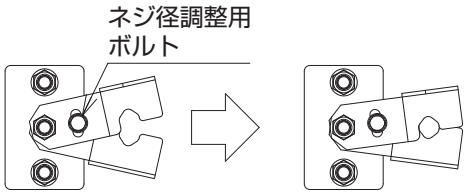
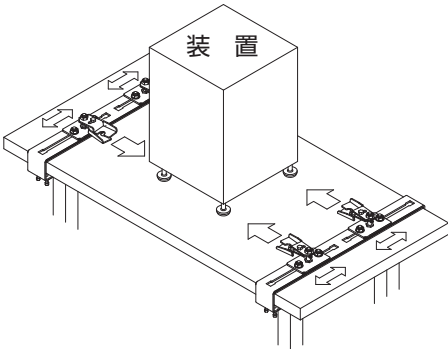
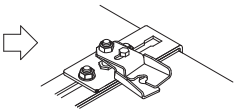
部品明細	アンカーボルト M8タイプ	アンカーボルト M12タイプ	アジャスタータイプ	ベルトタイプ
① スライドフレーム	2	2	2	2
② 天板当て板	4	4	4	4
③ 低頭六角ボルト M12×20L	8	8	8	8
④ 平ワッシャ M12	8	8	8	8
⑤ 緩み止めナット M12	8	12	8	8
⑥ アンカーアタッチメントM8用	4			
⑦ アンカーアタッチメントM12用		4		
⑧ 六角ボルト M8×50L	4			
⑨ 六角ボルト M8×100L	4			
⑩ 六角ボルト M12×60L		4		
⑪ 六角ボルト M12×120L		4		
⑫ 緩み止めナット M8	4			
⑬ アジャスターアタッチメント			4	
⑭ ベルトアタッチメント				4
⑮ ベルト (3.5m)				2

- 2

<アジャスタータイプ>
1. ①スライドフレームに差し込んだ③低頭六角ボルトに
⑬アジャスターアタッチメント④平ワッシャ
⑤緩み止めナットを取り付け、仮止めて下さい。
- 2

任意の位置に装置を設置して下さい。
①スライドフレームと⑬アジャスターアタッチメントを
スライドさせ、装置のアジャスター部にセットします。
- 3

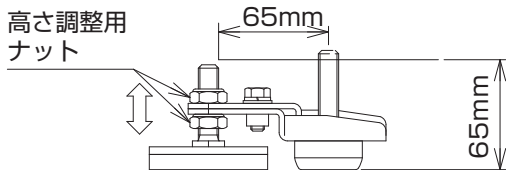
下図のネジ径調整用ボルトを緩め、アジャスターネジ部を
軽く挟んで下さい。



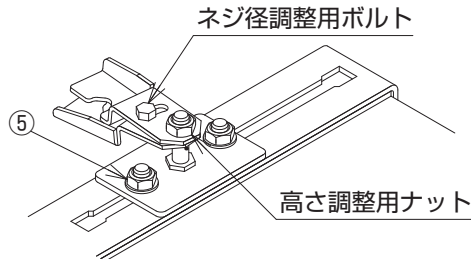
- 4

高さ調整用ナットを緩め、アジャスターに合わせて、高さを
調整して下さい。
アジャスターをしっかりと押さえる高さに調整して下さい。
- 5

アジャスターに合わせて挟み込み、高さの調整が終わり
ましたらネジ径調整用ボルトと高さ調整用ナット、⑤
緩み止めナットを本締めして下さい。



注. アジャスターが65mm以上内側に入る場合は高さ調整部分が
干渉する恐れがございます。
高さ調整部が干渉する場合は装置の下部隙間を65mm以上に
して下さい。
アジャスター長さが足りない場合は別途長いアジャスターを
ご用意下さい。

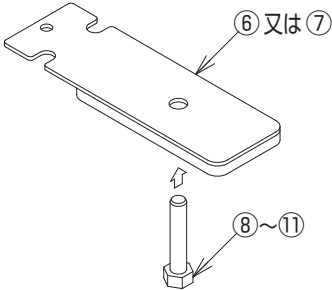


- 3

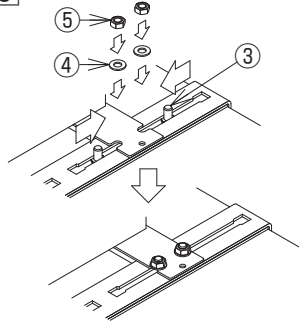
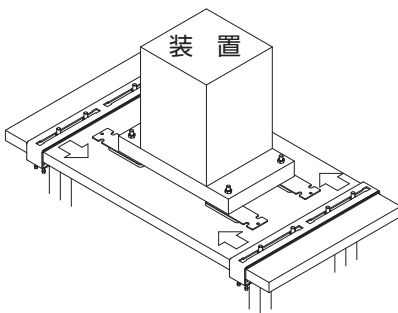
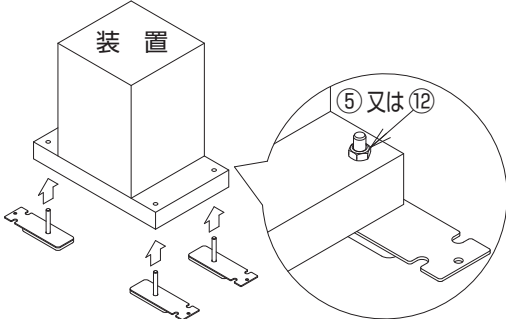
<アンカータイプ>
1. ⑥又は⑦のアンカーアタッチメントの裏面から
⑧～⑪の任意の六角ボルトを差し込んで下さい。
- 2

作業台上に設置する装置のアンカー取付穴に
⑥アンカーアタッチメントを4つセットして、
⑤又は⑫の緩み止めナットで仮止めて下さい。
- 3

装置を任意の位置にセットして下さい。①スライドフレームをスライドさせて、
③低頭六角ボルトを⑥アンカーアタッチメントのU字部に差し込み、
④平ワッシャと⑤緩み止めナットで締め付けて下さい。
最後に全ての⑤緩み止めナットを本締めして下さい。⑤へ

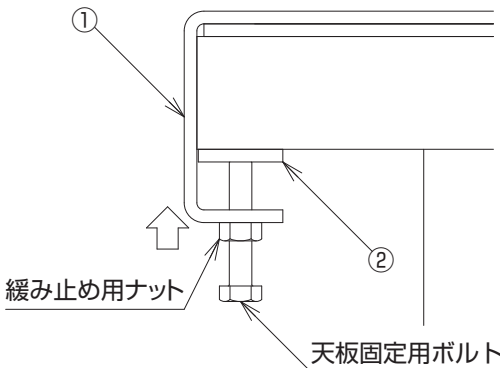


注. 付属品以外のボルト長さが必要な場合は別途ご用意下さい。



- 5

1. 天板裏面に②天板当て板を挟み、天板固定用ボルトを締め付け、
①スライドフレームと天板を固定して下さい。
注. 過度に締め付けますと①スライドフレームが変形します。ご注意下さい。
その後、緩み止め用ナットを①スライドフレーム側に締め付け、
天板固定用ボルトが緩まないように固定して下さい。



- 4

<ベルトタイプ>
1. ①スライドフレームに差し込んだ③低頭六角ボ
ルトに⑭ベルトアタッチメント④平ワッシャ⑤
緩み止めナットを取り付け、仮止めて下さい。
- 2

任意の位置に装置を設置して下さい。
①スライドフレームと⑭ベルトアタッチメントを
スライドさせ、装置の横にセットします。
- 3

⑮ベルトのフックを⑭ベルトアタッチメント
の角穴に引っ掛けて下さい。この時フックの
先端が装置側に向くように取り付けて下さい。
- 4

⑮ベルトのバックルから出たベルトの余り部分を引っ
張りベルトを締め付けて下さい。締め付け時に装置が
変形しないように注意してください。
最後に⑤緩み止めナットを本締めして下さい。⑤へ

